

「第23回薬害根絶デー」に参加！



挨拶を述べる早稲田ゆき衆議院議員（JR総連推薦議員懇談会所属）

8月24日、薬害根絶デー実行委員会と全国薬害被害者団体連絡協議会（薬被連）の主催で開催された「第23回薬害根絶デー」に、JR総連も参加してきました。

厚生労働省前でおこなわれたリレートークには、JR総連推薦議員懇談会所属の立憲民主党「早稲田ゆき」衆議院議員も駆け付けられ、国による薬害被害者救済の充実と、薬害を生み出さないための仕組みづくりにむけて連帯し取り組んでいくと、力強く挨拶されました。

その後、厚生労働省の前庭に建立されている「薬害根絶 誓いの碑」の前で、薬被連代表から加藤勝信厚生労働大臣に、薬害根絶にむけた要望書を手渡してきました。

また、日比谷図書館でおこなわれた集会では、要望書の内容についての報告、薬害を繰り返さないとして設置をされた「医薬品等行政評価・監視委員会」の活動と課題、薬害HPVワクチン訴訟の弁護団より訴訟の現状報告と、薬害HPVワクチン被害者からは激しい副反応被害に苦しんでいる現状と、一刻も早く治療薬の研究を進めてほしいとの訴えなどがされました。

薬害根絶デーとは？

1999年8月24日、厚生労働省の前庭に、「薬害根絶 誓いの碑」が建立され、サリドマイド・スモン・薬害エイズなどの悲惨な薬害を引き起こした反省と謝罪がなされました。そして、毎年8月24日を「薬害根絶デー」として、薬害の根絶と被害者救済を願い、「碑の前の誓い」を中心に「厚生労働省交渉」「文部科学省交渉」などの薬害根絶行動をおこなっています。

JR総連はこれからも薬被連のみなさんと連帯していきます！